SDGs新聞	株式会社コーセー
化粧品の力で誰もが平等な世界を！	

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは、日本が全ての人々に平等な国だと思いますか？
実は日本では特に男女平等がまだまだ進んでいなくて、それを数値で示す「ジェンダー・ギャップ指数」の2024年のデータでは、
なんと、146か国中118位とかなり低いんです。
そこで、化粧品会社のコーセーでは、女性たちの活躍を助ける活動に力を入れ、いろんなことに取り組んでいます。
例えば、大学で男女平等についての授業をしたり、就職活動をがんばる人たちに向けて、お化粧のやり方を教えるセミナーを開催したり、
さらには、金銭的な理由で化粧品を買えない人たちに向けて、化粧品セットをプレゼントしたり、
さまざまな方向から女性を応援しています。
化粧品の力で、誰もが笑顔で過ごせる世界へ。
男性だけでなく、誰もがイキイキと活躍できる社会にするには、どんなことができるか？みなさんでも考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

世界各国の中で、日本はまだまだ「男女平等」とは言えない状況です。「ジェンダー・ギャップ指数」の2024年のデータでは、日本は146か国中118位でした。この指数は、政治や経済、教育、健康の4つの分野で男女の平等さを評価するものです。特に、日本では政治や経済の分野で女性の活躍が少なく、順位が低い要因の1つとなっていて、例えば、国会議員や会社の社長の多くが男性です。男女が平等に活躍できる社会をつくるためには、女性がもっと活躍しやすい環境を整えることが必要です。家庭や学校、職場で性別にとらわれない考え方を広めることが大切で、一人ひとりが意識し、行動することで少しずつ社会は変わっていきます。

このような状況に対して化粧品会社のコーセーは、女性たちの活躍を応援する「ウーマンエンパワーメント」に力を入れています。例えば、大学で男女平等についての授業を行ったり、就職活動をがんばる人に向けてお化粧の仕方を教えるセミナーなども開催しています。さらにコーセーは、「コスメバンクプロジェクト」に参加しています。このコスメバンクプロジェクトとは、化粧品を手に入れるのが難しい人たちに向けて、「化粧品の詰め合わせギフト」を無料でプレゼントするプロジェクトで、コーセーもリニューアルなどによって、品質に問題がないものの販売ができなくなった化粧品などを届けています。このような取り組みがさらに広がれば、誰もがもっとイキイキと社会で活躍できる世の中になるはずです。

キーワード

ジェンダー・ギャップ指数

男女の平等さを比べる数字です。世界経済フォーラムが世界中の国を調べ、平等の実現度を示しています。みんなが平等に暮らせるかを知る大切な指標です。

ウーマンエンパワーメント

女性が自分の力を発揮し、活躍できる社会をつくることです。

コスメバンクプロジェクト

一般社団法人コスメバンクフォースマイルズが運営するプロジェクトです。経済的な理由で化粧品を買うのが難しいひとり親家庭に、無料でコスメの詰め合わせを届けています。現在、約30社の企業や約200団体、約300施設がこのプロジェクトに参加しています。

対象ゴール

みなさんにできること！

誰もがイキイキと活躍できる社会にするにはどんなことができるか、考えてみましょう。

おさらい

- 日本のジェンダー・ギャップ指数は146か国中118位で、「男女平等な社会」とは言えない。
- コーセーは女性たちの活躍を支援する「ウーマンエンパワーメント」に力を入れている。
- コーセーは化粧品を買うのが難しい人々を応援する「コスメバンクプロジェクト」に参加している。

メモ

SDGs ラジオ